

平成30年度農業技術対策指導指針

(抜粋)

- I 水稲栽培技術対策
- II 麦類・大豆栽培技術対策
- III 野菜栽培技術対策
- IV 花き栽培技術対策
- V 果樹栽培技術対策
- VI 家畜飼養および草地飼料作物技術対策
- VII その他水田作技術対策

平成30年4月

石川県農林水産部生産流通課
石川県農林総合研究センター

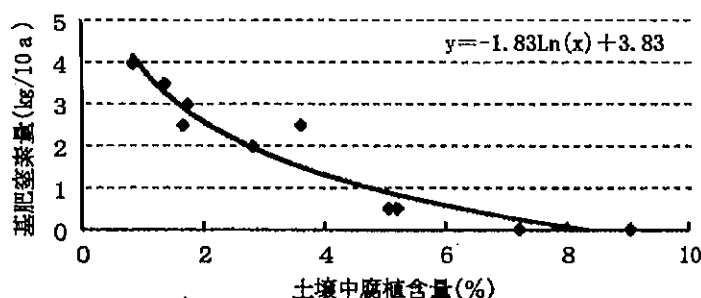
施肥設計は、これらの事項と、品種、地域及び土壌条件、栽培法、気象条件を考慮し、決定する。

⑤ 基肥

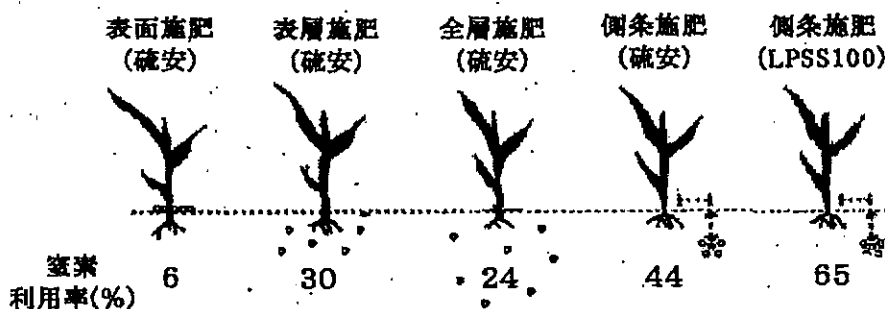
ア 窒素

湿田は土壌中の腐植含量が多いため、土壌からの可給態窒素の供給が多く、基肥量が少なく済み、乾田は施肥による基肥窒素の依存度が大きい。

稚苗移植において、基肥施肥法の違いから、稲体に利用される基肥窒素の利用率は下図のとおりで、側条施肥が最も利用率が高く、次いで表層施肥、全層施肥となり、土壌表面への施肥が最も低い。



第16図 良食味米生産のための基肥窒素量の判定 (石川農研)
(コシヒカリ)



第17図 稲体の基肥窒素利用率 (石川農研)

基肥 (活着肥含む) 施用基準 (稚苗移植 10a 当たり窒素成分 kg)

土壌タイプ	土性	早生種	中生種 (コシヒカリ)	晩生種 (ひやくまん穀)
乾田	粘質土	3~4	3	4
	壤・砂土	4	3~4	3~5
半湿田	粘質土	3	2~3	3~4
	壤・砂土	3	3	4

(注) 活着肥は1kgとする。

イ リン酸

リン酸は、基肥主体とし、10a 当たり成分で6~9kgを施用する。ただし、土壌分析により、土壌中の可給態リン酸が20mg/100gを超える場

合は、リン酸の施用量を減らす。

ウ カリウム

カリウムは、窒素と同様な吸収パターンをすることから基肥、穂肥とも窒素と同様程度に施用する。

⑥ 穂肥

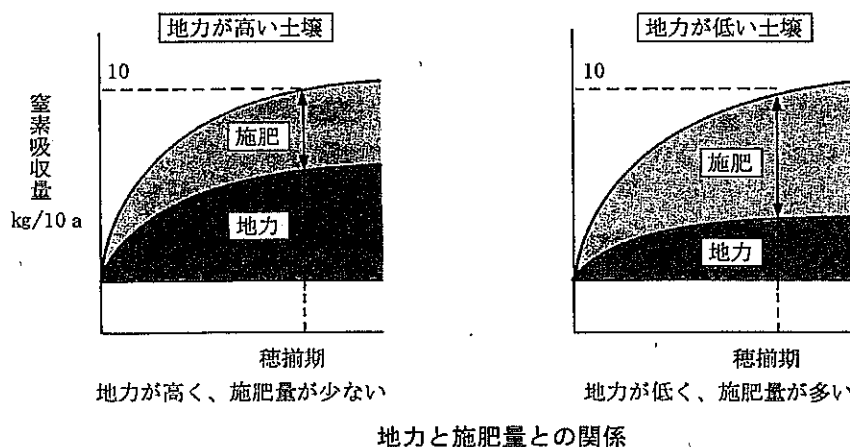
穂肥の施用時期の診断と施肥基準（施肥量：稚苗移植10a当たり窒素成分kg）

	施用時期 (出穂前日数)	施肥量		生育診断		
		ゆめみづほ	能登ひかり	稲の姿	主稈、幼穂長	葉色
早生種	-23	2	—	上位葉直立	1～2mm	4.0
	-20	—	2	〃	2mm	4.0
	-10	2	—	〃	—	—
	-7	—	2	〃	—	—
中生種	施用時期 (出穂前日数)	施肥量		生育診断		
		コシヒカリ		稲の姿	主稈幼穂長	葉色
	-16～-15	2		上位葉直立	15mm	3.5前後
-9～-7	2		〃	—	—	
晩生種	施用時期 (出穂前日数)	施肥量		生育診断		
		ひやくまん穀		稲の姿	主稈幼穂長	葉色
	-20	3		上位葉直立	2mm	4.0
-10	3		〃	—	—	

- (注) 1 地力の高い地帯では、さらに穂肥総量で1～2kg減らす。
 2 LP穂肥一発肥料や有機入り肥料は、上記の窒素成分の基準内とする。
 3 有機100%肥料については、第1回目穂肥を、基準より5～7日前に施用する。

ア 地力に応じた穂肥施用量の決定

穂肥の施用に当たって、最も留意しなければならないことは、地力に応じた穂肥施用量を決定することである。一般的に地力と穂肥量との関係は下図のように考えられ、地力が高い程、穂肥窒素量を減らす必要がある。



地力窒素の生育時期別の発現量は、土壤中の腐植含量や交換容量が大きい

① 水田土壌の改良目標

水田土壌の改良目標は、イネが十分生育し、安定生産の確保が図られるよう、土づくり対策を土壌タイプ別に示し、指導の徹底を図る。

本県の水田土壌別の改良目標値を示すと次のとおりである。

目標とする診断基準

項目		水稲
物理性	作(表)土の厚さ (cm)	15以上
	有効根群域の深さ (cm)	50以上
	〃 の最大ち密度 (mm)	20以下
	日減水深 (mm)	20～30
化学性	pH (H ₂ O)	5.5～6.5
	交換性石灰の飽和度 (%)	40～60
	〃 苦土 〃 (%)	10～15
	〃 加里 〃 (%)	5～8
	石灰/苦土	6～8
	苦土/加里	2以上
	可給態窒素 (mg/100g)	10以上
	〃 リン酸 (mg/100g)	10～20
	〃 ケイ酸 (mg/100g)	15以上
	腐植 (%)	3以上
遊離酸化鉄 (%)	0.8以上	

② 改良方法

分析結果に基づき次のように処方する。

可給態リン酸	ようりんの施用 (kg/10a) 0 ～ 5mg ～ 10mg ～ 15mg ～ 20mg 100kg、75kg、50kg、25kg
可給態ケイ酸	ケイカル施用 (kg/10a) 0 ～ 10mg ～ 20mg ～ 30mg ～ 50mg 250kg、200kg、150kg、100kg、隔年100kg
腐植含量	0 ～ 1% ～ 2% ～ 3% ～ (堆肥2t) (1t) (0.5t) (0t) 稲わら・・・全量